

- BankART AIR 2019 OPEN STUDIO開催!
- バンカースクール受講生募集!
- U35藤本涼展 開催!!
- BankART Station と BankART SILKがオープンしました!
- 「雨ニモマケズ」展を開催しました!

BankART NEWS Vol. 15

発行: BankART1929
2019年5月20日発行

BankART AIR 2019 スタート 5/31よりOPEN STUDIO開催!



BankART1929恒例のアーティスト・イン・レジデンス事業(AIR)、今年は2拠点+αで開催します。基本的には、制作場所(スタジオ)の公開ですが、4月~5月に制作した成果物も発表します。是非皆様、お気軽にご参加ください。

みなとみらい線の新高島駅、馬車道駅、日本大通り駅を含む、みなとみらい線一日乗車券付き入場料が700円!

BankART各拠点にて5/24より販売します!
(内訳: 観覧チケット/会期中のみ有効、みなとみらい線一日乗車券/11月30日まで有効、ワンドリンクサービス/BankART Home 11月30日まで有効)

*詳しくはチラシ参照



BankART AIR 2019 オープンスタジオ
会場: BankART Station + BankART SILK
■ 5月31日[金]~6月9日[日] 11:00~19:00
入場券700円(みなとみらい線一日乗車券、1ドリンク付)
[身体障害者手帳]「愛の手帳(療育手帳)」[精神障害者保健福祉手帳]をお持ちの方と介護者の方1名、中学生以下は観覧会のみ無料でご覧になれます。
□オープニングパーティ: 5月31日[金] 19:00~
□アーティストトーク 毎週土曜18:30-20:00 ※参加費350円(1ドリンク付)
①4/12 ②4/20 ③4/27 ④5/4 ⑤5/11 ⑥5/18※ ⑦5/25 ⑧6/1
会場: BankART Station ※5/18はBankART SILKで開催。詳細はHPにて。

◎参加作家[31チーム]
studio CORDIA(広瀬玲子+広瀬哲哉) / SHA@BAS(関和明+中島修+韓卿浩+サトミセキ) / SOS(吉本直紀+フレッド・ヴィー) / 運輸友子 / オオツカリリ / 大和田愛子 / あしおとでつなごう!プロジェクト(おどるなつこ、稲垣晴夏、いとうすずの、松本由美子・福本翠) / CHIE / ジェニス・チョン / 横山裕己 / Super Salt(橋本太+平田守+宮川通弥) / SANPO(村田青朔、久保有紗、南平妙子、佐々木 敏晴、矢吹昇一、千葉市子、菊池由紀子) / リン・チャーチル / LION(ナカバヤシアリス、山山亮祐、カタノエリナ、今井しほか) / 尾花藍子 / 山中春海 / 関 直美 / 田中信太郎研究処(関直子・川口ひろ子・坂井和洋・阿部剛士・岩間正明・今裕子・新城順子) / 旅する芸術祭(紀 あさ+石川 潤) / 細淵太麻紀 / 阿部剛士 / 宮森敬子 / 早崎真奈美 / JUNKO SUZUKI / 三浦かおり / 結いの丘(有泉絵美、堂本隆司、加藤玄太) / 苫野美亜 / 窪田久美子 / Junction2019 (岩間正明+橋村至星+三枝聡) / nici (青木結花里・三谷桐子) / AYUMI ADACHI

BankART under35 藤本 涼展 「クラウドフォーカスの行方」開催! 2019.6.14.fri. - 7.15.mon. BankART SILK

藤本氏は、東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻を修了して、10年目を迎える気鋭の美術作家です。写真表現と絵画表現の間を行き来しながら、見ることの真実と距離をテーマに、これまで数多くの個展を開き、グループ展に参加してきました。BankART1929のunder35のシリーズは、35才以下の若い作家を個展形式、カタログ制作でサポートするプログラムで藤本氏が35人目にあたります。藤本氏は今年がちょうど35才。これから大きな壁や坂道に出会う時期です。今回の個展はもちろん新作も含まれますが、氏のこれまでの仕事の総覧になるかと思えます。この個展が、氏が大きくジャンプするきっかけになればと願います。BankART SILKでの藤本氏の新展開をどうぞご期待ください。

会期: 2019年6月14日(金)~7月15日(月) (会期中無休)
開館時間: 11:00~19:00
オープニング: 6月14日(金) 18:30~20:00
アーティストトーク: 6月29日(土) 19:00~20:30
入場料: 写真集付入場料900円 / 入場のみ 200円
写真集(B5版/80p/ハードカバー/テキスト:伊藤俊治)



バンカースクール 2019年7-9月期 受講生募集!

BankART school 2019年7月~9月期の受講生の募集がはじまりました。是非みなさんご参加ください。

7-9月 詳細は別刷りチラシ・HPにて

- 月 | 今福龍太「夜、瓦礫、屑の叛乱 — 70年代の芸術的(知)の運動の諸相」 @BankART Home
①7/8 ②7/15 ③7/22 ④7/29 ⑤8/5 ⑥8/12 ⑦8/19 ⑧8/26
 - 火 | 村田 真「平成の美術」 @BankART Station
①7/9 ②7/16 ③7/30 ④8/6 ⑤8/20 ⑥9/3 ⑦9/10 ⑧9/17
 - 水 | 藤枝 守「ふるえ」と「きこえ」 @BankART Home
①7/24 ②7/31 ③8/7 ④8/28 ⑤9/4 ⑥9/11 ⑦9/18 ⑧9/25
 - 土 | 松本秋則「サウンドオブジェを作ろう」 @BankART Station
①6/29 ②7/13 ③7/27 ④8/17 ⑤8/24 ⑥8/31 ⑦9/7 ⑧9/21
- BankART schoolの概要 | 時間 = 19:30~21:00 (土曜は 16:00~17:30)
会場 = BankART Home、BankART Stationにて
料金 = 1講座 12,000円 入学金 3,000円 (初めての方のみ) 定員 = 18名
お申し込み方法 | ①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・電話のいずれかにてお知らせください。
お申し込み・お問い合わせ | BankARTスクール事務局
school@bankart1929.com TEL 045-663-2812



BankART StationとBankART SILKがオープンしました!

2019年2月8日、BankART 1929の 新拠点、「BankART Station」がオープンした。展示室、通路の専用使用部分含めて約1500平米の空間だ。計画当初、奥まった倉庫部分の使用しか認められておらず、穴蔵的な空間になってしまうのを危惧していたが、最終的には道路通路部分を使用したエントランスを設けることができ、パブリック〜プライベート空間を実現することができた。横浜市文化観光局、道路局、みなと

みらい高速鉄道の各担当者のご尽力による賜物だ。カフェをスタートするには、もう少し準備に時間がかかりそうだが、近い将来実現させたい。これまでのBankART Studio NYKでの運用経験を踏まえながら、これからどんな人が訪ねてくれ、またどんなことを発信していけるか、丁寧にリーディングし、アプローチしていきたい。

(2019年3月1日ブログより)



BankART Station Grand opening 2019.2.8



BankART SILK オープニング展覧会
「高橋啓祐 映像と身体」2019.2.1~2.24

「雨ニモマケズ」展

「雨ニモマケズ」がはじまった。BankARTの新しい拠点、みなとみらい線「新高島」の地下1Fの「BankART Station」とCreative Network事業のアーティストスタジオとして活用している「R16スタジオ」の2カ所がその会場だ。鑑賞する人は、徒歩6分ほど離れたこのふたつの会場を移動することになる。

展覧会案内にも記しているように、この2カ所、16年間もの長い期間眠っていた場所だ。横浜市は旧市街地を通過していた東横線の横浜駅〜桜木町駅間の運行をとりやめ、新しく海側にシフトしたみなとみらい線を開通。廃線跡は遊歩道としての活用を検討、新高島は新規開発を期待されていた場所だが、なかなか進展をみない。

こうした状況の中、廃線跡高架下とぽっかりとあいた新高島駅の地下構内をアート事業に活用させてもらうことになった。この展覧会は、まさにこうした都市構造の大きな変遷の隙間 (VOID) にあり、積極的な言い方をすれば、旧市街地と新市街地 (みなとみらい) を繋ぐプログラムだ。

今から11年前、「国道16号線を越えろ!」という展覧会を企画実施した。それは今回の展覧会と同様、旧市街地と新市街地を往来するプログラムだった。

今もその想いは変わらない。私たちのミッションは、確かに旧市街地を元気にするというで始まったプログラム (創造都市構想) ではあるが、それは同時に、旧市街地と新市街地を結びつけるプログラムでもあるのだ。

(2019年3月1日ブログより)



TPAM オープニングセレモニー 2019年2月11日 @BankART Station

TPAM (国際パフォーマンス見本市) のレセプションが、2月8日にオープンしたばかりの、BankART Stationで開催された。写真にあるように、ひと、ヒト、人。外国籍の方が本当にたくさんこられた。400名を越えるひとときの多国籍の街が突然誕生した。要人の挨拶のあと、演劇、ダンス界を代表する有識人によるシンポジウムが開催され、多くの聴衆をえた。BankART Stationの工事が遅れており、まだ空調機が始動しおらず、この間の寒さが気になったが、もともとの地下の安定温度と人々の熱気で、なんとかしのげたようだ。トイレが少ないという問題も、みなとみらい線高速鉄道の配慮で、改札フリーパスで駅内のトイレを使わせてもらうことができた。

日程的には、ばたばたのきついスケジュールだったが、これまで、NYKで開催してきたTPAMが、BankARTの次の拠点の決定を待ってこれ、この新しい空間を活用してくれたことは嬉しい限りだ。(2019年2月11日ブログより)



宮本隆司「首くり拷問」出版記念展

2019年3月31日 @BankART SILK

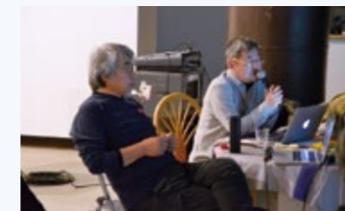
写真家・宮本隆司氏による初の人物写真集の発刊に連動して、BankART SILKの小さな部屋で個展の開催 (3.18~3.31) と、31日の拷問氏の命日には、シンポジウム (長井和博/演劇評論家、藤田康城/ARICA/演出家、宮本隆司/写真家) と映画上映 (監督:余越保子)、パーティからなるイベントを開催した。個展の内容は、本のコピーにある「2018年3月に永眠した「首くり拷問」の、庭劇場での姿を追う渾身の一撃。」の言葉につける。イベントには多くの宮本氏、拷問氏の関係者に参加いただき、楽しく進化した。



BankART school 春の講座より

「不連続統一・発見的的手法」Team ZOO

2019年3月27日 ブログより



今日は、象設計集団の8回目のゼミ。台湾の象を長らく牽引してきた坂元卯氏と象の建築写真をとり続けている北田英治氏の登壇。これまでの7週間は週替わり

で、象のメンバー及び関連チーム (チームZOO) にご登壇いただき、リレートークをしていただいた。名護市庁舎から40年を経たの象チームは、現在も日本国内のみならず、様々な場所で持続的に活発な活動を続けてこられてきたことを、どのゼミも見事に示してくれた。象の創立メンバーの富田氏もほとんど毎回出席していただき、バテ屋さんの林のり子氏の参加等もあり、そうそうたるメンバーが集まった贅沢で懐かしいゼミだった。みんなバラバラで活動しているようで、きちんと吉坂先生の思想を各人独自に引き継いでいる姿には学ぶところは多かった。最後になったが、このゼミの組み立てにご尽力いただいたのは現在横浜区内のトキワビルに居を構える有形デザイン機構の浅沼秀治氏だ。深く感謝したい。

編集後記

○NYK解体から約一年。みなとみらい線の新高島駅と馬車道駅と日本大通り駅に三つの施設が産声をあげた。東横線廃線跡の高架下 (旧新高島駅付近) に四つめのプロジェクト「R16スタジオ」も正式に動きはじめた。

○いつもは無料で公開しているAIRプログラムの「Open Studio」を今回は、700円の入場料をいただくことにした。といっても、乗車券が460円、ドリンクが通常は350円なので、すでに700円は越えている。これは分散化した施設をなんとか皆さんに訪ねていただきたいからだ。

○BankART Stationの真上にある資生堂のグローバルセンターが4月にスタートし、大分歩く人も増えてきたような気がする。もうひとつの真上の京急の本社ビル、斜めむかえのソニーも秋には誕生する予定だ。その他新高島では大規模なプロジェクトが20以上進行している。巨大企業の中の小さな小さな新参者の「BankART Station」はたして何ができるか?

アクセス

- BankART Station (横浜市西区みなとみらい5-1) みなとみらい線「新高島駅」地下1階
- BankART SILK (横浜市中区山下町1シルクセンター1F) みなとみらい線「日本大通り駅」徒歩3分
- BankART Home (横浜市中区相生町3-61 泰生ビル1F) みなとみらい線「馬車道駅」徒歩5分/11時~23時

お問い合わせ | BankART1929

TEL: 045-663-2812

E-mail: info@bankart1929.com

www.bankart1929.com